

概要

- 近年の環境変化の影響を受けアワビをはじめとする磯根資源が急激に減少しており、これまで海藻養殖試験を実施してきた。
- 港湾水域を活用した海藻増殖によりアワビ・ウニ等の磯根資源の安定供給を実現することで、地域資源を創出し浜の活性化に寄与する。
- 協力機関との協議を踏まえて協議会を立ち上げ、マーケティング戦略をもって地域の賑わいを創出し漁業や流通・販売・観光を含めた地域産業の活性化に寄与する。
- イベント開催によって賑わいのある漁港を創造し、漁港ストックの有効利用を図る。



効果

- 漁港における海藻養殖
 - 磯根資源の安定生産
- マーケティング戦略
 - 地域の賑わい創出
 - 地域産業の活性化
- 教育イベントの開催
 - 地域の賑わい創出
 - 担い手不足の解消

海業の取組概要



小名浜港湾全体図

これまで、

- 港湾内で漁業者・研究者・行政と海藻養殖試験を実施
 - ・ 海域調査
 - ・ ウニの駆除
 - ・ アラメ移植試験

これから（目標）、

- 協力機関との協議を踏まえて協議会を立ち上げる
 - ・ 漁業者・民間団体・行政・研究者・教育関係
- イベントの開催
 - ・ 担い手育成・食育・ブルーカーボン 等
- マーケティング戦略で地域のニーズを吸い上げる
 - ・ 計画案の作成・計画の実証
- 海域の実証試験ののち藻場を造成/資源の回復(再生)
 - ・ ウニ/アワビの餌となる海藻の供給
- ウニの陸上畜養試験
 - ・ 未利用なウニで陸上養殖→通年生産

地域の賑わいを創出
 漁業や流通/販売/観光を含めた
 地域産業の活性化



港外の密集したウニ



海藻養殖試験の取組状況



漁業体験



陸上養殖



藻場造成



ウニの貝焼き

協力体制

- いわき藻場保全研究会(いわき市漁協)
- 福島県小名浜港湾建設事務所
- 岡部 株式会社
- 株式会社 東京久栄
- 株式会社 富川企画

スケジュール

- 2025年～
 - 協議会の立上げ
 - 勉強会の開催
 - 海域試験の継続
 - マーケティング調査
- 2027年～
 - 計画策定/実証試験
 - 漁港活用の実証試験
 - ブランド力向上
 - イベント開催